

第5章 計画の推進

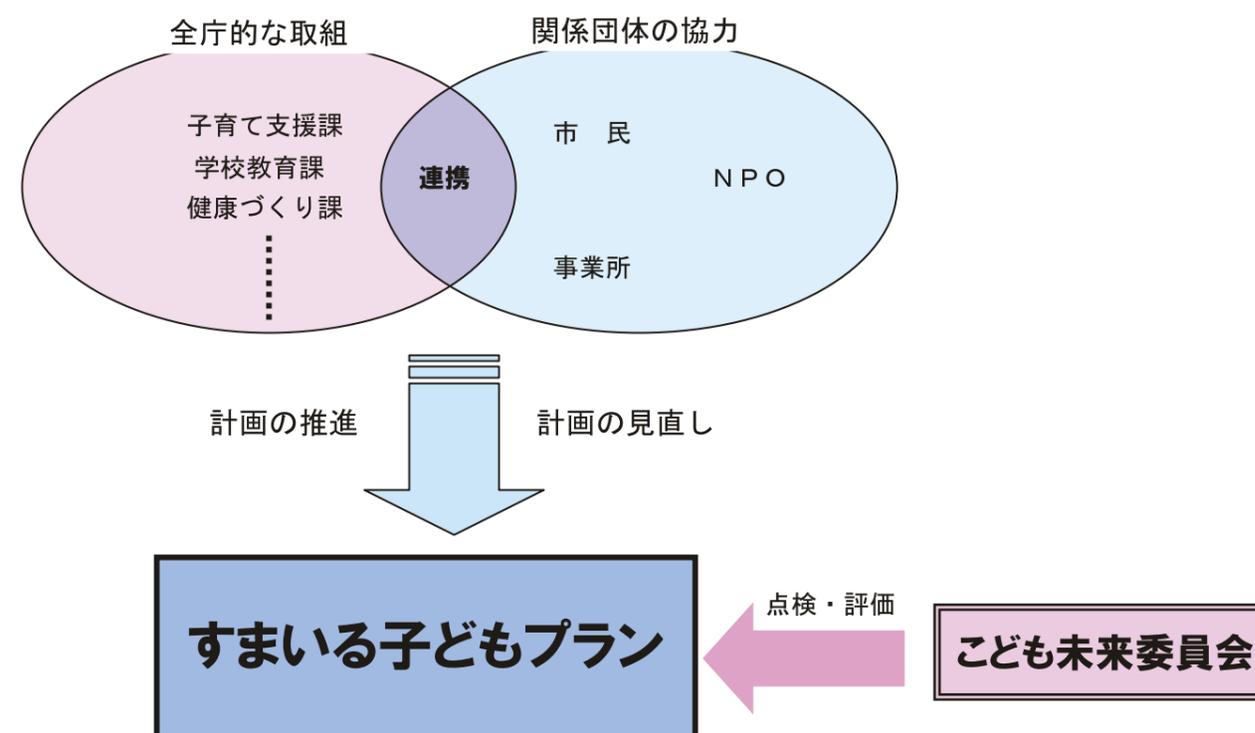
1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、他の部門別計画などとの整合性を図るとともに、関係部局が連携し、全庁的に取組を進めます。

また、多様化した市民ニーズにきめ細かく対応していくためには、行政サービスのみでは困難であることから、市民や事業所、NPOなどの関係団体と連携・協力を図りながら進めていきます。

本計画の実施状況については、三条市子ども未来委員会において点検・評価を行い、その後の対策の実施や、計画の見直し等に反映させていきます。

【イメージ図】



2 計画全体の点検・評価・情報公開

計画の推進にあたっては、事業の実施状況、目標達成状況を把握・点検し、その結果をその後の事業や計画の見直し等に反映させていくことが重要です。

そこで、「すまいる子どもプラン」の円滑な推進を図るため、各事業の年度ごとの達成状況を点検、評価、情報公開します。

そして、本計画の目的である「子どもを生み育てることが幸せと感じられ、子どもの笑顔があふれるまち」の達成度を計るために、下記成果指標を設定し、本計画期間の最終

年度となる平成26年度における目標数値を定め、計画の着実な推進を図ります。

その結果は、次世代育成支援対策地域協議会の「三条市子ども未来委員会」に報告し、評価を加えた後、市の広報紙やホームページなどを活用して公表します。

《成果指標》

	成果指標	H21年度	H26年度 (目標値)
1	合計特殊出生率	1.46	1.51
2	子育てに不安感を感じている人の割合	63.7%	50%
3	子育てについて気軽に相談できる人がいる割合（市などの相談機関も含む）	84.7%	95%
4	子育てを負担と感じている人の割合	35.7%	25%
5	子育てに幸せを感じている人の割合	97.7%	99%
6	父親が育児をしていると思う人の割合	79.3%	90%
7	子育てと仕事が両立できていると思う人の割合（仕事をしていない人を除く）	67.8%	80%
8	保育（小学生の学童保育含む）サービスが充実していると思う人の割合	57.7%	70%
9	およそ3年前と比べて三条市が子育てしやすいまちになったと思う人の割合	52.3%	70%
10	三条市の子どもが生き生きしていると思う人の割合	66.8%	80%

*合計特殊出生率については、平成20年数値

3 市民、事業所、各種団体、関係機関等との連携・協力

本計画を実効性のあるものとして着実に展開していくためには、家庭、地域、関係団体、事業所等の主体的な取組が必要不可欠となります。現に子育てに関わっている人々や家庭だけでなく、市民全体が子どもの視線に立って乳幼児期から青少年期までの子育ての重要性を認識して、積極的に関わっていくことが重要です。

そこで、国・県等の関係機関、地域、事業所、各種団体等と十分に連携を取りながら協力し、計画を推進します。